



旧観慶丸商店とは

観慶丸商店が建てられたのは、昭和5年（1930）。石巻で最初のデパートとしてオープンし、その後は陶磁器店となりました。

「観慶丸」という名前は、もともとは船の名前でした。お店を始めた人の祖先は、江戸時代に「観慶丸」という名前の千石船の沖船頭（船の責任者、船長、積荷の売買その他一切を任せられていた）として、荷物を運んでいたのです。江戸に荷物を運び、その帰りに、陶磁器を積んで帰ってきたといわれています。

観慶丸商店は、デパートとしてオープンした当初も1階で陶磁器を売っていました。観慶丸商店の外壁に張りめぐらされたタイルは、店の看板としての役割を果たしました。各地のタイルに覆われた観慶丸商店は、全国から船が集まった港町石巻を象徴しています。



千石船

案内

- 休館日 毎週火曜日
(祝日に当たるときはその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
- 開館時間 午前9時～午後5時
(文化交流スペースで催事を行う場合に限り、当該スペースの開館を午後9時まで延長可。)
- 観覧料 無料
(文化交流スペースは、催事によって入場料を徴収する場合があります。)
- 文化交流スペースの利用
申込みの際は、下記の申込先までご連絡ください。

1時間	1日(10時間以上利用)
500円	5,000円

料金は、前納となっております。催事の6ヶ月前から3日前まで予約を受付けます。

- 所在地 宮城県石巻市中央三丁目6-9
- 交通案内 JR石巻駅から徒歩10分
駐車場はありません

■ 周辺地図



- 問合せ先 旧観慶丸商店 0225-94-0191
- 文化交流スペースの利用申込先 石巻市教育委員会生涯学習課
0225-95-1111 (内線5056)

石巻市指定文化財

旧観慶丸商店

former Kankeimaru Shoten



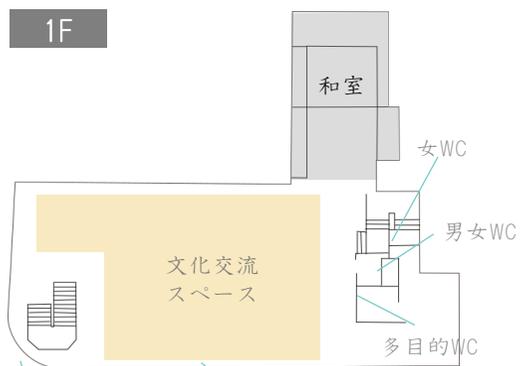
旧観慶丸商店 館内案内図



特徴的な建築が評価され、石巻市指定の文化財となった旧観慶丸商店。
文化財としての建造物の魅力とともに、文化交流施設としての旧観慶丸商店
について紹介します。

展示スペースについて

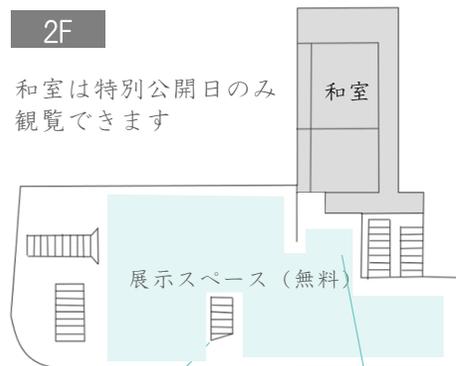
- ◇旧観慶丸商店コーナー
この建物の歴史を語る資料を展示しています。
- ◇毛利コレクションコーナー
故毛利総七郎氏の業績を紹介し、収集した資料を展示しています。
- ◇企画展コーナー
石巻の歴史文化を紹介する企画展を随時開催します。
- ◇映像コーナー
石巻地方の民俗芸能等を紹介する映像を、4Kテレビでお楽しみいただけます。



外観正面のタイル



入口支柱の
タイル



展示階段



天井

※館内にはエレベーターやエスカレーターはありません



旧店舗の円柱
(柱頭)



旧食堂の
レリーフ・タイル